

単元名 ゲーム(ゴール型ゲーム)ポートボール

配当時間 9時間

- 単元の目標 (1) ゴール型ゲームでは、その行い方を知るとともに基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって、易しいゲームをすることができる。
- (2) 規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができる。
- (3) 運動に進んで取り組み、規則を守り誰とでも仲よく運動したり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとする。

標準的な展開例

03100206_001

【準備等】 バスケットボール、ミニバスケット用ゴール、ポートボールの台、学習カード、対戦表など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 ゴール型ゲーム(ポートボール)のねらいと内容を理解し、学習の進め方について見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらいや進め方を知る。 ★ルールを工夫してゲームをしよう。 <p>○学習カードの使い方を知る。</p> <p>○マナーや安全な運動の仕方について知る。</p> <p>○チームを編成する。</p> <p>○試しのゲームをし、課題をつかむ。</p> <p>2～4 簡単なルールで、ゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ゴール型ゲーム(ポートボール)に関連した体ほぐしの運動をする。 ○ゲームの進め方の確認をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ルール、マナー、対戦相手 <p>○チームの課題を話し合う。</p> <p>○第1ゲームをする。</p> <p>○反省し、練習をする。</p> <p>○第2ゲームをする。</p> <p>○反省し、まとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・課題、ルール、マナー </p> <p>5～7 ルールを工夫してゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体ほぐしの運動をする。 ○ゲームの進め方の確認をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ルール、マナー、対戦相手 ○対戦相手と、ルールについて話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ＜工夫したルールの例＞ ダブルドリブルOK 得点エリアの設定 ＜工夫した場の例＞ ドーナツゴール、エンドゴール、二重ゴール ○チームの課題を話し合う。 <p>○第1ゲームをする。</p> <p>○反省し、練習をする。</p> <p>○第2ゲームをする。</p> <p>○反省し、まとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・課題、練習、ルール </p> <p>8, 9 ポートボール大会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ポートボール大会をする。 <p>○単元のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・手を使ったゴール型ゲームとして、ハンドボールなども考えられる。 ・攻守が入り交じって行うゲームの特性を理解させる。 <p>通常のポートボールのルールや場にとらわれず、児童の実態に合わせて行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1チーム4～7人、男女混合で編成する。 ・1試合各7分で1～2試合行う。 <p>・毎時間必ず行うようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数のチームと対戦することを知らせる。 ・オープンコートの基本とするが、ボールに集まってしまう場合などはグリッドコートを使用してゲームを進めても良い。 ・課題を立てられないチームには、話合いに教師が加わって助言する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの結果や反省の様子から、チームの課題に沿った動きができていないチームやままりのあるチームを紹介し称賛する。 ・第1ゲームとは別のチームと対戦させる。 <p>【評】 チームで協力してゲームをする活動をとって、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じチームと2ゲーム行うことを知らせる。 ・相手チームとの話合いでルールや場の工夫がうまくいっているか確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・課題を立てられないチームには、話合いに教師が加わって助言する。 <p>【評】 チームに合っためあてをもって練習する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1ゲームと同じチームと対戦させる。 ・練習の成果を確認させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・試合方法は、学級の実態に応じて決める。 <p>【評】 ポートボール大会を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームでの話合いや学習カードによる自己評価などをさせる。

【備 考】

本単元では、ゲームを中心として簡単なボール扱いや攻め方、守り方を身に付けみんながシュートを楽しめるようにする。ポートボールのルールに合わせて学習をするのではなく、実態に合ったルールでゲームを構築し、学習する楽しさ、喜びを味わわせる。

【運動が苦手な児童への配慮の例】

・パスを出したり、シュートをしたりすることが苦手な児童には、ボールを保持する条件を易しくするとともに、ボールを保持した際に周囲の状況が確認できるように言葉がけを工夫するなどの配慮をする。